宇協	平成27年度
天心	十八27十尺

# 事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称	老人クラブ支援事業	所管課 [2]	高齢介護課			
事務事業の石物 [1]	<b>七八ノノノ又版事未</b>	評価者(担当者)	一鬼 仁美			
	基本目標(章) ⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづく	ાં	重点			
総合計画での位置付け	主要施策(節) (3)社会福祉の充実		施策 [4]			
	施策区分 (3)高齢者支援の充実		□該当			
[3]	(市民意識調査結果) ☐ 【A】重点改善領域 ✓ 【B】重点維持	持領域 □【C】観察領:	域 【D】維持領域			
中长の担拠	□ 市長公約 □ 新市建設計画【 年月	度予定 : 金額	千円】			
実施の根拠 (複数回答可)	☑ 法令、県·市条例等【 老人福祉法、熊本県健康福祉補	助金等交付要項	]			
[5]	□その他の計画【	]	◯ 該当なし			
事業区分	☑ ソフト事業        義務的事業       建設・整備	事業	維持管理事業			
<del>事</del> 来区力 【6】	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務					
会計区分 [7]	✓ 一般会計	】 款 3	項 1 目 3 細目 4			
《事務事業の目的》	<b>»</b>					
事務事業の実施背景(ど	  高齢者人口が増えていく中で、老人クラブ会員数は年々減	少している。高齢者の	社会参加、生きがいづく			
	り、仲間づくり、健康づくりなどの推進を図っていく高齢者組	織が、安定した活動を	行うため、財政的支援を			
があるのか) [8]	行う必要があるため。					
対象(誰、何に対して) 【9】	玉名市老人クラブ連合会					
意図(どのような状態に	  高齢者が多くの仲間と手を携え、他世代の方とも交流を深く	めるとともに、健康づく	りや生きがいづくりの活			
したいのか)	動の推進を支援する。					
[10]						
《事務事業の概要》	<b>&gt;</b>					
事業期間	□ 単年度のみ □ 単年度繰返し	─ 期間限定複数	:年度			
事未効间 【11】	【 年度】 【 H 17 年度から】	【 年度~	年度まで】			
事業主体 [12]	□国□県□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□その他【	]			
実施方法 [13]	□ 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補助	助金等交付 🗌 その	の他【    】			
	  老人クラブ活動を支援するために、以下の団体・活動に補	事務事業を構	成する細事業 [15]			
	助金を交付する。	① 老人クラブ	支援事業			
事務事業の具体的内容	│・単位老人クラブ │・玉名市老人クラブ4支部活動	2				
チがず木い六件が行	・シルバーヘルパー活動	3				
[14]	・健康づくり事業(健康ダンス等)	4				
	・玉名市老人クラブ連合会本部	(5)				

#### 《事務事業実施に係るコスト》

					H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
	車	国庫支出金		%					
	事 業 費	県支出金	_	%	3,637	3,529	3,269	3,277	
		起債		%					
+ <b>7</b> ъ	~ 千	- 受益者負担 - その他							
投 入	円								
⊐	$\overline{}$				9,377	9,298	9,224	9,243	
スト		[16] 小 計	ŀ		13,014	12,827	12,493	12,520	0
		[再掲]臨時·非常勤職員人	件費(	千円)	0	0	0	0	
	職人	職員人工数			0.30	0.40	0.30	0.30	
	員件	職員の年間平均給与額	額(千	一円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
	の費	【17】 小 討	F	·	1,683	2,170	1,627	1,627	
		合 計			14,697	14,997	14,120	14,147	

### ≪事務事業の手段と活動指標≫[18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
1	老人クラブ支援事業	老人クラブに補助金を交付 する。	補助交付延べ団体 数	団体	116	109	103	102
2								
3								
4					·			
<b>⑤</b>								

## **《事務事業の成果≫**[19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
	成未相保(忌凶の数値化)	司界刀広入は武功	中世	H24実績	H25実績	H26実績	/
	1 65歳以上要介護認定者率	要介護認定者数/65歳以上人口	%	22.5	21.5	21.6	21.4
ľ	1 00			21.5	21.6	21.4	/
	2 玉名市老人クラブ会員数	全会員の合計	人	6,383	6,053	5,570	5,530
	4 上口川七八フノノ云貝奴			6,383	5,993	5,570	

《事務事業の評価》

<u> </u>	《事務事業の評価》											
	評価項目	評価の視点	評価	評価の説明								
妥当	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	□ 問題あり □ 問題なし	を人クラブの活動により引きこもりを防								
性	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民二一ズの低下により役割が薄れていないか。	□ 問題あり □ 問題なし	止し、お互いに見守り活動もでき、健康 寿命が延び、ひいては介護保険を使わ								
〈判定〉 A	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	<ul><li>✓ 影響あり</li><li>─ 影響なし</li></ul>	ない生活につながっている。								
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<ul><li>✓ 達成</li><li>★達成</li></ul>									
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<ul><li> 余地あり</li><li> 余地なし</li></ul>	-								
〈判定〉 A	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<ul><li>✓ +分</li><li>✓ 不+分</li></ul>	-								
41	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<ul><li> 余地あり</li><li> ☆ 余地なし</li></ul>	-								
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	<ul><li> 余地あり</li><li> ☆ 余地なし</li></ul>	-								
1_	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<ul><li> 余地あり</li><li> 余地なし</li></ul>	-								
〈判定〉 A	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<ul><li> 余地あり</li><li> 余地なし</li></ul>									
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	<ul><li> 余地あり</li><li> √ 余地なし</li></ul>	-								

## 《今後の方向性と改善》

今後の方向性 	加充して継続
	介護保険制度改正に伴い、元気高齢者の社会参加が求められており、シルバーヘルパーなど老人クラブ活動がより重要となってくる。今後も会員増加に努めつつ、現状のまま事業を継続する。
昨年からの見直し・改善状況	

#### ■評価責任者記入欄■

	今後、超少子高齢化社会の到来が予想される中で、老人クラブの存在意義はかな	評価責任者
評価責任者(課長)の所見	り高い。なぜ、必要なのか、高齢者に玉名市の介護保険の現状を説明しながら、魅 カある会となるよう支援していく。高齢者自身の意識を変える必要がある。	辻 智子
[33]		